

吉井勇と「短歌を語ろう」



吉井勇の歌から、何を感じ、何を思うか。人それぞれです。それぞれの思いを皆でワイワイガヤガヤ語り合いませんか。きっと何かが見えてきますよ。

◆山田高校の文芸部の皆さんに、勇の短歌の感想を述べてもらいます。

後は、参加者でフリートーク
～ワイワイガヤガヤ～

日時：2019年8月26日(月)13:30より
場所：猪野々集会所(吉井勇記念館西隣)

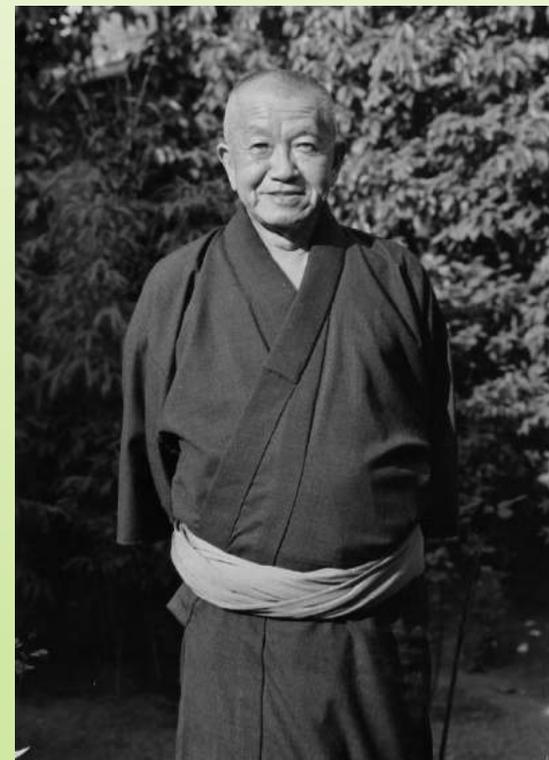
◇無料送迎バス(※事前申込必要)

行き 12:00 香美市役所本庁舎前発
12:20 JRバス美良布駅経由
帰り 15:40 吉井勇記念館発



香美市立
吉井勇記念館

〒781-4247 高知県香美市香北町猪野々514番地
TEL 0887-58-2220 FAX 0887-57-5995



吉井勇の短歌を
読んでみたい
という人が
たくさんいる
ので、ぜひ
参加してほしい
です。

主催：香美市立吉井勇記念館

- ① かにかくに祇園は恋し寝るときも枕の下を水の流るる
- ② 紅灯のちまたにゆきてかへらざる人をまことのわれと思ふや
- ③ みづからの弱さみにくさあさましさ恥づるがゆるゑに旅を思ふか
- ④ 旅のうれひいよいよ深くなるままに土佐の萑生の山峡に来ぬ
- ⑤ 山ふかき猪野野の里の星まつり芋の廣葉に飯たてまつる
- ⑥ 草庵にしばらくゐては打ちやぶる大き芭蕉の句のころかな
- ⑦ 寂しければ寂しきままに生きてゐむひとり飯食しひとりもの書
き
- ⑧ 大土佐の御在所山の朝雲はもそろもそろとゆきて親しき
- ⑨ しづけさは涅槃のごとし大土佐の萑生の峡にわれや眠らむ
- ⑩ ひと夜寝てあした目覚めのすがしさや物部の溪を雲湧きのぼる
- ⑪ 畑づくり蚕を飼ひ土佐の山ふかく人は楽しく生きてあるらし
- ⑫ 夕風は山の鍛冶屋の鑿打つなつかしき音を遠くつたへ来
- ⑬ 冬の夜の酒のさかなに友のするものすさまじき山懺悔はも
- ⑭ 寂しければ酔ひて手を拍ち唄うたふ今戸益喜の顔もおもしろ
- ⑮ 寂しければ御在所山の山櫻咲く日もいとど待たれぬるかな

吉井勇と短歌を語ろう



① かにかくに祇園ぎおん）は恋し寝るときも枕の下を水の流るる
かにかくに（あれこれと、いろいろと、とかく）

② 紅灯（こうとう）のちまたにゆきてかへらざる人をまことのわれ
と思ふや

紅灯（花柳界、遊郭、歓楽街）ちまた（繁華なとおり）

③ みづからの弱さみにくさあさましさを恥づるがゆゑに旅を思ふか
醜い、憎い、浅ましい情けない、見苦しい）



④旅のうれひいよいよ深くなるままに土佐の蕪生（にろう）の山
峡に来ぬ

うれひ（憂ひ、愁ひ、患ひ）

⑤山ふかき猪野野の里の星まつり芋（いも）の廣葉（ひろは）に
飯（いひ）たてまつる



⑥ 草庵にしばらくくみては打ちやぶる大き芭蕉の句のころかな
一所不在

⑦ 寂しければ寂しきままに生きてゐむひとり飯食（いひを）しひ
とりもの書き



⑧ 大土佐の御在所山の朝雲はもそろもそろとゆきて親しき

⑨ しづけさは涅槃のごとし大土佐の萑生の峡にわれや眠らむ

⑩ ひと夜寝てあした目覚めのすがしさや物部の溪を雲湧きのぼる



⑪ 畑づくり蚕（こ）を飼（か）ひ土佐の山ふかく人は楽しく生きてあるらし

⑫ 夕風は山の鍛冶屋（かじや）の鑿（たがね）打つなつかしき音を遠くつたへ来（き）



⑬冬の夜の酒のさかなに友のするものすさまじき山懺悔（やまぞんげ）はも

⑭寂しければ酔ひて手を拍（う）ち唄うたふ今戸益喜（いまどますき）の顔もおもしろ





⑮ 寂しければ御在所山の山櫻咲く日もいとど待たれぬるかな